

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月15日

計画の名称	安心して快適に暮らせるまちづくりの推進（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	稲城市												
計画の目標	汚水排水整備の普及促進を図ることにより、良好な生活環境の確保と公共用水域の水質向上を図る。また、浸水対策を実施することにより、水害に強いまちを作るとともに安心安全な市民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,888	A	3,888	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を98.9%（H28）から99.6%（H32）にする。 下水道処理人口普及率：総人口に対する汚水整備済区域内人口の割合で、どのくらいの市民が下水道を使用できるようになったかを示す指標 整備済み人口 / 行政人口	989%	993%	996%
2	浸水対策率を19.6%（H28）から23.2%（H32）にする。 浸水対策率：雨水の全体計画区域1,747haのうち、雨水排水整備が完了している面積の割合	196%	220%	232%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	稲城市	直接	稲城市	管渠(汚水)	新設	第三期管渠整備	汚水管 200mm L=11,994m	稲城市						1,774		-	
	A07-002	下水道	一般	稲城市	直接	稲城市	管渠(汚水)	新設	南山東部土地区画整理事業関連公共下水道事業	汚水管 200~250mm L=12,415m	稲城市						462		-	
			R2年度から重点条件変更をうけ、一部基幹事業を別計画に切り出し。事後評価はR3年度に同時に受ける。																	
	A07-003	下水道	一般	稲城市	直接	稲城市	管渠(雨水)	新設	南山東部土地区画整理事業関連公共下水道事業	雨水管 250~2000*2000 L=11,655m	稲城市							1,652		-
			R2年度から重点条件変更をうけ、一部基幹事業を別計画に切り出し。事後評価はR3年度に同時に受ける。																	
											小計						3,888			
											合計						3,888			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況や整備効果の発現状況について、稲城市社会資本総合整備計画評価委員に諮ります。	令和3年9月
	公表の方法 市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水排水整備により汚水処理区域を拡大し、下水道処理人口普及率を98.9%から99.3%に向上させ、公共用水域の水質保全に寄与している。 ・雨水排水整備を推進し、整備面積の割合を19.6%から20.8%に向上させ、浸水被害の軽減に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も普及率の向上を確実に実行するため、予算執行を図り東京都道路拡幅整備事業などに併せて汚水排水整備を効率的に実施し、良好な生活環境の確保と公共用水域の水質向上を図っていく。また、浸水対策についても引き続き水害に強いまちを作るとともに安心安全な市民生活の確保を図っていく。 <p>基幹事業番号 A07 - 001 汚水管計画延長L=11,994m 実施延長L=7,238m 基幹事業番号 A07 - 002 汚水管計画延長L=12,415m 実施延長L=3,908m 基幹事業番号 A07 - 003 雨水管及びボックス計画延長L=11,655m 実施延長L=3,967m</p>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・汚水排水整備については、事業認可区域内の整備を確実に進め、次期計画では99.6%の既成完成を目指し整備を図っていく。 ・雨水排水整備については、事業認可区域内の整備を進め、次期計画では整備面積割合を23.3%を目指し、計画的に進めていく。また、次期計画内には事業認可区域の拡大を図り継続的に整備を進めていく。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道処理人口普及率		
	最終目標値	996‰	上平尾土地区画整理事業及び小田良土地区画整理事業については、整備が完了し、下水道処理人口普及率が向上した。鶴川街道及び南山東部土地区画整理事業については、汚水排水整備が遅れているため、下水道処理人口普及率が目標より下回った。
	最終実績値	993‰	
2	浸水対策達成率		
	最終目標値	232‰	南山東部土地区画整理事業の進捗の遅れ（令和元年東日本台風による大幅な盛土造成の遅れが生じた）により、雨水排水整備の浸水対策率が目標より下回った。
	最終実績値	208‰	

(様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	安心して快適に暮らせるまちづくりの推進 (重点計画)	交付対象	稲城市
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)		

